

21.9.2

鹿大の チカラ

KAGOSHIMA
UNIVERSITY

多島圏研究センター

日高 哲志 教授(58)



「パンノキ」「カロリンギヨボク」「タイベイヨウグルミ」…。いずれも、太平洋に浮かぶ島国、ミクロネシア連邦などで自生している果樹の名前だ。日高教授は島嶼部での果樹を専門に、果樹の分類や効果的な栽培法を研究し、農業分野へ生かせて調べた果樹はおよそ1万種類。パソコンの中には、日本名、学名の分類や果樹の大きさ、繁殖法などで細かく分かれれたデータが保存されている。いずれデータベース化し、イン

パパイア栽培

パンノキは果肉を生で食べ、発酵食としても利用されている。その葉は料理を包むためにも使われる。そして樹液は、接着剤代わりにも使われる。カロリンギヨボクは「ビタミンA不足症に効果がある」という最新の論文の内容もデータベースに記載されている。

これまで二千数年間にわたって調べた果樹は、日本名、学名の分類や果樹の大きさ、繁殖法などで細かく分けられたデータが保存されている。いずれデータベース化し、イン

ターネット上で誰もが利用できるようにしたい」という。「今後の研究者の役にも立てれば」という思いからだ。

パンノキは通常、10~15年ほどで成長する。背が高いため、収穫や手入れが大変だった。そのため、手がけたのは品種改良だった。樹高があまり伸びないが果実の品質があと一步の品種をもとに、樹高も伸びず果実の品質が優秀な品種を作った。

そのほかにも問題があった。樹高があまり高くない品種を作り出しても、種で増やしていくよう研究している。

これまで二千数年間にわたって調べた果樹は、日本名、学名の分類や果樹の大きさ、繁殖法などで細かく分けられたデータが保存されている。いずれデータベース化し、イン

品種改良で増産目指す



上 ハウス栽培をしているパパイア ① 試験管の中で増殖させたパパイア=日高教授提供

10年はかかり、枝がほとんどないパパイアでミカンなどのように接木で繁殖させるのも効率が悪い。そこで日高教授が取った方法が、いくつかある株の中から理想的な状態の品種の株を、

10年はかかり、枝がほとんどないパパイアでミカンなどのように接木で繁殖させるのも効率が悪い。そこで日高教授が取った方法が、いくつかある株の中から理想的な状態の品種の株を、10年はかかり、枝がほとんどないパパイアでミカンなどのように接木で繁殖させるのも効率が悪い。そこで日高教授が取った方法が、いくつかある株の中から理想的な状態の品種の株を、

10年はかかり、枝がほとんどないパパイアでミカンなどのように接木で繁殖させるのも効率が悪い。そこで日高教授が取った方法が、いくつかある株の中から理想的な状態の品種の株を、

10年はかかり、枝がほとんどないパパイアでミカンなどのように接木で繁殖させるのも効率が悪い。そこで日高教授が取った方法が、いくつかある株の中から理想的な状態の品種の株を、